

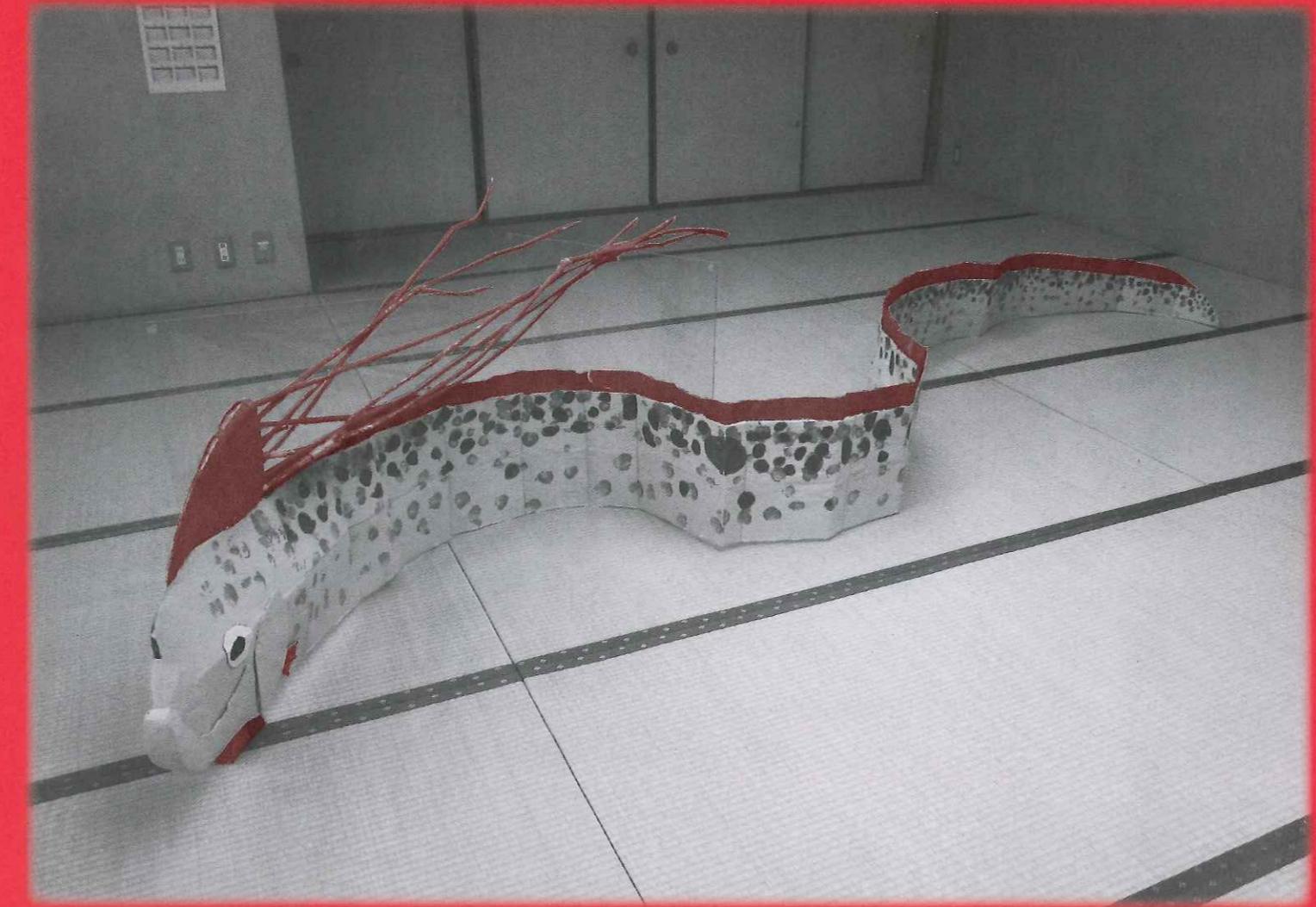
か
わ
ら
い

令和5年3月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

春
第160号

わちあい

責任者 谷口 俊顯 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



「リュウグウノツカイ」
落合第三小学校2年 中村 太郎さん

長さ493cm 高さ50cm 幅5cm
素材 ダンボール 半紙 アクリル絵の具
夏休みの自由研究で制作しました
(地域センター2階に展示しています)

新春 日本の遊び

一月十四日（土）、「新春日本の遊び」が、三年ぶりの開催となりました。小学生以上を対象に、事前予約にて、午前・午後の入れ替え制としました。

一階受付で検温と健康チェックリストの提出をし、リストバンドをつけて会場へ。

二階会議室で、羽子板と引きごまの絵付けをし、三階フリースペースで、けん玉遊び、多目的ホールは羽根つき、工芸美術室は引きごまと、それぞれの遊びを、スタッフに教わったり、友達同士で楽しみました。リストバンドと引き換えにお土産のお菓子をもらって帰りました。



正月花(風除室)



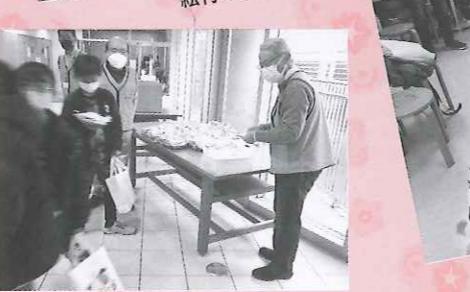
1階受付



絵付け会場



絵付けしたこま



引きこま遊び



お菓子のお土産をもって帰る



羽根つき



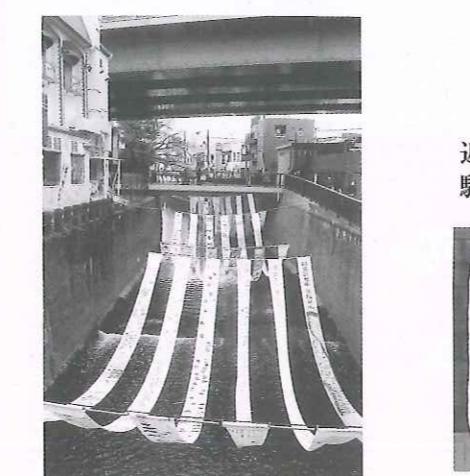
けん玉



羽子板や引きこまに絵付け



絵付けされた素敵な羽子板



染めの小道

「染めの小道」2023は、3年ぶりに通常開催により近いものを目指し、2月24日(金)～26日(日)、中井駅を中心に行われた。



2月イベント 健康講座

歌で健康寿命をのばそう

「落合音頭」を復活



二月十九日（日）午後二時～三時半、三階多目的ホールにて、感染対策をしながら、事前予約制度三十九名が参加しました。フレイル（身心の機能の低下の過程のこと）予防には、お口の機能の向上が有効、というテーマの第二弾（前回は昨年十一月開催）です。

講師は、目白大学人間学部子ども学科助教で、当センター管理運営委員会総務部の委員でもある山崎英明先生。今回は「歌うこと」が、心身の健康にとってもよいという内容でした。

始めに自己紹介がスライドを使いながら披露され、一気に親近感を覚えました。雑談を交えながら、发声法や呼吸法の説明をしてくださいました。口腔フレイルの予防には「歌うこと」が効果的で、好き嫌いに関係なく、口の中の唾液量を促進させる効果があるほか、気分転換にも効果的で、上手に歌えなくても気にしなくていいそうです。

楽しいお話を飽きることなく、一時間半はあつという間でした。次回はぜひ、声楽家としての歌声を拝聴したくなりました。（小野田 正治）



落合音頭

作詞 近藤弘文

作曲 岩坪四郎

江戸の頃

一、螢名所 螢名所は 江戸の頃

皆揃つて 皆揃つて

手に团扇

※ソーレ 今も昔も 人の落合う

情の町だヨ ヨーイヨーイ

二、乙女山とは 乙女山とは

誰が言つた

春は桜の 春は桜の艶すがた

染めて流せや 染めて流せや

川の波 川の波

※繰り返し ※繰り返し

四、昔 忍ぶよ 昔 忍ぶよ

あの 落合銀座 並ぶ町並み

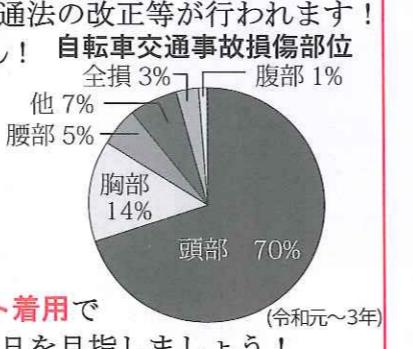
並ぶ町並み 花の町

※繰り返し

五、空は晴れたよ 空は晴れたよ

ソレ皆 手拍子揃えて 手拍子揃えて

踊りやんせ



戸塚警察署からのお願い！

交通事故が後を絶ちません。自転車利用者の安全を守るために、道路交通法の改正等が行われます！

1. 自転車利用者は、4月1日からヘルメット着用に努めなければなりません！

2. 自転車の安全利用五則が新しくなりました！

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯 ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

保険加入で更に安心！あなたのため、大切なご家族のためにヘルメット着用で

また五則を守って自転車安全利用の気運を醸成し、交通事故のない明日を目指しましょう！



落合中井社会人大学院

「地域にある大人の寺子屋、住民みんなでつくる地域の学び舎」

代表 野口 卓也

き、地域センター、中井御靈神社等、各所で実施させていた

だいております。

参加される方々は毎回多少の変化はあります



「気候かるた」で遊ぼう!(第16回)

落合地区には、葛ヶ谷御靈神社(西落合二丁目)と中井御靈神社(中井二丁目)があり、毎年1月13日に正月の「弓神事」が行われる。弓神事とは、五穀豊穣と安産を祈つて弓を射る行事のこと。江戸時代には各地でさかんに行われていたが、現在、東京二十三区内ではこの二ヶ所と大田区東六郷の六郷神社のわずか三ヶ所に伝わっているのみで、新宿区指定文化財となっている。

「住民それぞれがもつ知識や経験をお裾分けすることにより、地域の新しいつながりをつくりたい」という想いから、2020年9月、第一回の講座をスタートし、二年半がたちました。これまでイベントを含め、計二十一回(2023年2月まで)の講座を実施、参加者は延べ300人を超えております。毎月一回程度実施しています。



「災害は忘れる前にもやってくる」
(第15回)

今はインターネットによって興味や知識にはすぐアクセスできますが、「偶然の出会い」は減つてきているのではないかでしょうか。「社会人大学院」を通じて、現役の時から、つっかけ履きで気軽に地域の多世代の多様な方々と膝付き合わせ触れあい、道で会えば軽く会釈し合えるようないふやかなお知り合いを作つていませんか。名前は「社会人大学院」ですが、地域社会のかつた」と気づいたり、それによつて日常の景色が変わつたり、生活の幅が広がるきっかけになればと思っております。先日、リサイクル工場見学を実施した帰り道では、道端の「ごみ」が「資源」として目に留まるようになりました。



プロギングジャパン開催

※開催内容は中井町会の掲示板、または、QRコードでご確認ください。
落合中井大学院 QRコード

落合地区には、葛ヶ谷御靈神社(西落合二丁目)と中井御靈神社(中井二丁目)があり、毎年1月13日に正月の「弓神事」が行われる。弓神事とは、五穀豊穣と安産を祈つて弓を射る行事のこと。江戸時代には各地でさかんに行われていたが、現在、東京二十三区内ではこの二ヶ所と大田区東六郷の六郷神社のわずか三ヶ所に伝わっているのみで、新宿区指定文化財となっている。

葛ヶ谷御靈神社は、社殿での謡の後、受け番(今年の当番)と渡し番(去年の当番)が鳥居にかけた的に向かって矢を放つ。中井御靈神社では、年男二人が鬼門と鳥居の的へ順に弓を引く。矢は拾つて持ち帰ることができるので、厄除けや室内安全のお守りにしようと参拝者が群がる。落合地区が都心にありながら住みやすいのは、こうした神社に守られているおかげかもしれない。



(取材・文 林 有実)

i まちじまん 御靈神社おびしゃ祭り

【葛ヶ谷御靈神社】西落合二—一七—一七
【中井御靈神社】中井二—一九—一六

落合地区には、葛ヶ谷御靈神社(西落合二丁目)と中井御靈神社(中井二丁目)があり、毎年1月13日に正月の「弓神事」が行われる。弓神事とは、五穀豊穣と安産を祈つて弓を射る行事のこと。江戸時代には各地でさかんに行われていたが、現在、東京二十三区内ではこの二ヶ所と大田区東六郷の六郷神社のわずか三ヶ所に伝わっているのみで、新宿区指定文化財となっている。

葛ヶ谷御靈神社は、社殿での謡の後、受け番(今年の当番)と渡し番(去年の当番)が鳥居にかけた的に向かって矢を放つ。中井御靈神社では、年男二人が鬼門と鳥居の的へ順に弓を引く。矢は拾つて持ち帰ることができるので、厄除けや室内安全のお守りにしようと参拝者が群がる。落合地区が都心にありながら住みやすいのは、こうした神社に守られているおかげかもしれない。

あなたの戦争体験募集!

★「我が家の戦災記録・新『戦災記』」(小野 正人著)が地域センター二階の資料コーナーで閲覧できます。夏号に抜粋版を掲載予定です。

【お問い合わせ先】
地域センター事務局 電話〇三(三九五二)九九四一

美しい日本の四季 春の句 —落二一句会—

オーと叫び矢を放ちけりおびしや祭
まだ会へぬ施設の友へさくら餅
(神原 まつ子)

摘草や土手を搖るがす西武線
春雨を硯に受けて書く挽歌
(井手 捷之)

貴禄の身を嫋やかに恋の猫
まだ会へぬ施設の友へさくら餅
(神原 まつ子)

来年も桜見ようと別れたり
(桜井 洋子)



音楽学習発表会

12月2日（金）開催された音楽学習発表会。リコーダーや鍵盤ハーモニカや歌唱活動が解禁となり、吹奏楽器を取り入れた合奏等に挑戦する運びとなりました。今まで2年間行えなかつた分を含め、たくさん練習を積み重ねました。

本番に向けた練習や、振り返りの感想からも、どの児童もスローガン「元気いっぱい心を一つに！響け歌声・奏でよう僕らの音楽」を目標に一生懸命取り組む姿が見られました。

今回の音楽学習発表会では、前半・後半に2分割しての開催でしたが、他学年の演奏を聴き合い、児童同士の交流ができることが良かったです。観客を前にして発表することや、生で仲間の音楽を見たり聴いたりしたこと、想像以上に心に感じることができたと思います。児童にとって良い経験となりました。

音楽専科 中野 珠美



クラスごとに合奏



学年の合唱

落六展覧会

12月16日（金）、17日（土）に展覧会が開催されました。今年度の展覧会のテーマは「一人一人がつくって見てかかわって～みんなの個性を感じ合おう、心おどる落六展覧会～」です。

今回の展覧会では、図工や家庭科の中でのづくりをすることをきっかけに、身近な世界や人・ものと深くかかわる展覧会にしたいと思い、取り組んできました。当日は体育館会場だけでなく校舎内や外廊下など、たくさんの作品が展示されました。

また今年度の新しい取組として夕方にはライトアップして光の道をつくり、土曜日には公開活動を行ったりしました。子どもたちも普段の図工の時間ではなかなか見られない他学年の作品を鑑賞したり、一緒にかかわりながらつくりたりするなど、楽しい2日間になったようです。

図工専科 杉山 聰



6年生の個別ブース



5年生の共同作品



『忘れられない あの日あの時』

～6年生担任の思い出トーク～

横川：6年生との一番の思い出は？

板敷：4月の出会いと体育発表会ですかね。

横川：ほお、なぜ？

板敷：2年ぶりに会うこの子たちがどのように成長しているか見るのが楽しみでした。

横川：3年生の時、支援員だったのですよね。

板敷：はい。

体育発表会は、最高学年として大きな行事で、表現の演技の最後に衣装を空高く投げるやり切った姿が印象的だったからです。

横川先生はどうですか？

横川：僕は日光移動教室ですかね。最後の最後まで楽しそうな子どもたちの姿が印象に残っているからです。「アイスクリーム！」とかみんなで合言葉を決めたりね。

板敷：そうですね。

最後、良い終わり方をしたいですね。

横川：そうですね。

それがあの子たちの良い始まりにつながるといいですね。

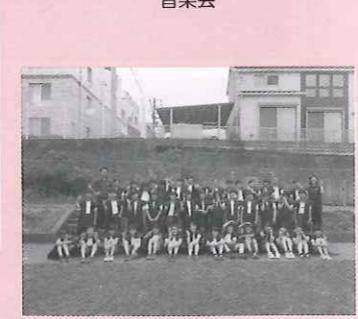
6年生担任 横川 浩之
板敷 美穂



音楽会



奥日光の虹



体育発表会を終えて



全校遠足のお昼



やっちゃんOCHISAN

衣類の問題解決プロジェクト

～身近な衣類の大切さを落合の地域に伝えよう～

今年の6年生の総合的な学習の時間の単元名は、「衣類の問題解決プロジェクト～身近な衣類の大切さを落合の地域に伝えよう～」です。探究課題は「資源エネルギー」と「ものづくり」です。

私たちがいつも着ている衣類が、毎日大量に廃棄されている現実を知り、子どもたちは衝撃を受けます。「世界で約3000億着も捨てられてしまう現状は変えていかないといけない。」「自分たちには何ができるだろうか。」と、保護者の方へのアンケートを取ったり、持続可能な衣類の開発に携わるCRESAVA（株）代表園部暁志さんの意見を聞いたりしました。そして、自分たちでこの問題を解決できるか考え、話し合うことを通して課題設定をしました。

「衣類の回収BOXを設置しよう。」「園部さんの会社で取り組んでいる、衣類の廃棄物を肥料に変えるサーキュラーファームのような取り組みをしてみよう。」「衣類をリメイクして、衣服の命を少しでも伸ばそう。」など、自ら考え、問題解決に向けて取り組みました。しかし、問題解決への道は簡単なものではありません。寄付をしようと取り組み始めたら、実は寄付先のアフリカでも大量の衣類を持て余して廃棄していること知り、廃案になりました。衣服を肥料にしようと実践しましたが、これは一般家庭で取り組むのは難しいと結論づけられました。リメイクをすると確かに服の寿命は延びるが、リメイクの作業自体にとても手間がかかることを再認識しました。そんな子どもたちの挑戦の中には大切な学びがありました。

「自ら考える。」「自分たちの思いや願い、興味・関心を自分たちの手で形にしていく。」など、どれも難しいことばかりです。難しいけれど挑戦してみる。そして当たり前の日常を支えてくれている人たちの存在と努力に気付く。このような学習過程の中にこそ成長の一歩があります。3月10日には、地域の方に向けて、発表をさせていただきました。卒業後も、様々な問題に対して、どうすればよいか、粘り強く考え続けられる姿を期待しています。

6年生担任 矢原 健一郎
大関 誠英



解決に向けて話し合う姿①



解決に向けて話し合う姿②



新聞を活用した学習の推進

落合二中では、昨年度より「新聞の活用や作成等の活動を通して、表現力の向上、主体的な学び、意見共有、多様性への理解等を深める」学習活動を推進しています。毎朝、全教室に「朝刊」が配布され、生徒たちはタイムリーに情報を入手できます。また、玄関奥の「新聞コーナー」には主要6紙朝刊を揃え、興味をもった記事について、各紙の比較もできるよう環境を整えました。こうして得た情報は、日直によって学活で発表したり、校長室前や学年の掲示板にコメント入りで掲示することで日常的な共有を図っています。

さらに、今年度は「弁論大会」での新聞活用を図りました。記事を手掛かりにテーマを設定したり、論点の根拠として引用すると、弁論の主張が一層しっかりと、説得力のある論文となりました。

宿泊行事や職場体験等の事前・事後学習で作成する個人新聞は、決められた文字数に合わせて記事を作り上げることで文章が洗練され、主張が明確になってきました。また、題字や写真、グラフ等を効果的に配置することで、見た目にも興味をひくものになっています。

今後も新聞を活用することで、教育の質を深める取り組みを工夫し、生徒の精神活動を高めていきたいと考えています。

副校長 宇野 賴子



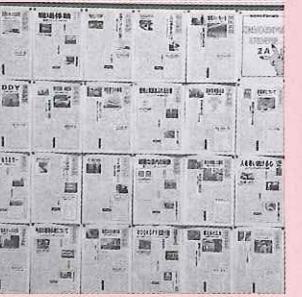
「新聞コーナー」



コメント入りで掲示された新聞



「個人新聞」を読み合う子どもたち

職場体験事後学習
「個人新聞」

10月22日（土）「弁論大会」

コミスポ中央大会 結果報告

12月11日（日）にスポーツセンターで第42回コミュニティスポーツ中央大会が開催され、3年ぶりに集まった各地区の代表選手たちは、老若男女問わず、子どもたちから高齢の方までスポーツを楽しみました。

ビーチボールバレー・ユニカール・輪投げ（60歳以上の部・一般の部）・ボッチャの4種目で熱戦が繰り広げられ、落二地区代表チームが大活躍、ビーチボールバレーでは、「落六ビスケツ」が優勝、輪投げ60歳以上の部では、「西落合クラブB」が優勝、ボッチャでは「レットバース」が第3位に入賞しました。おめでとうございます。



落六ビスケツ

【落二地区からの出場チーム】

ビーチボールバレー：落六ビスケツ

輪投げ（一般の部）：ナナリオン、中井町会有志Ⅱ、ひこりゅう

輪投げ（60歳以上の部）：西落合クラブB、石神会、辻町レディース・2

ボッチャ：レットバース、わかな

※ユニカールは出場なし



西落合クラブB

レットバース

落合第二地区青少年育成委員会

○映画会

12月17日（土）に落合第二地域センターで「親子映画会」を開催しました。

当日は、子ども44人が参加し、マスク着用や手指消毒、人数制限などの新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で『トムとジェリー』を上映しました。

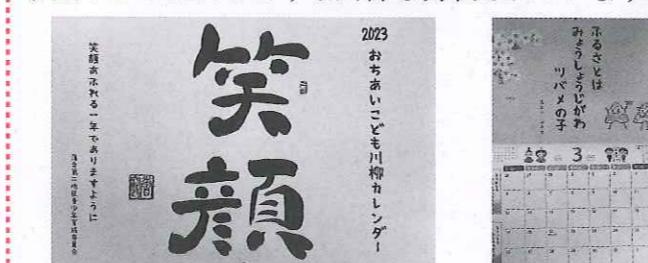


○おちあいプロジェクト

～こども川柳カレンダー作り～

落合第二地区の小・中学生が考えた川柳を掲載した2023年カレンダーを作成、配付しました。

カレンダーには、322人の児童・生徒が参加し、思わず笑みがこぼれるような川柳も掲載されています。

ご卒業おめでとうございます
令和4年度 卒業予定者数

学校名	人数
落合第一小	87
落合第二小	61
落合第三小	55
落合第四小	80
落合第五小	44
落合第六小	35
落合中	78
落合第二中	72
新宿西戸山中	156

(令和5年2月1日現在)

[コミュニティ誌]「おちあい」は全て再生紙を使用しています。

遊・悠（ゆうゆう）大会結果報告

新宿区バレーボール連盟が主催する遊・悠（ゆうゆう）大会（55歳以上の大会）が12月3日（土）に新宿スポーツセンター大体育館にて、3年ぶりに開催されました。参加した15チームは、チームの平均年齢により、1～3組の枠に分けられ、各組でグループ戦を行います。

落合から出場したチーム「落合クラブ」が3組の枠で優勝、チーム「NISHIOCHIAI」が2組の枠で3位入賞の成績を収めました。おめでとうございます。

落合さくらまつり～落合第二地区町会連合会主催～

3月25日（土）11:00～17:00に西落合公園で落合さくらまつりを開催します。模擬店、むかしあそびコーナー、おみこしフォトスポットなどを予定しています。詳細は、町会掲示板や右のQRコード（落合第二地区情報ホームページ <https://ochi2.jimdofree.com>）からご確認ください。
※25日（土）が雨天の場合は、26日（日）の開催となります。
※模擬店の販売は、12:00からを予定しています。

